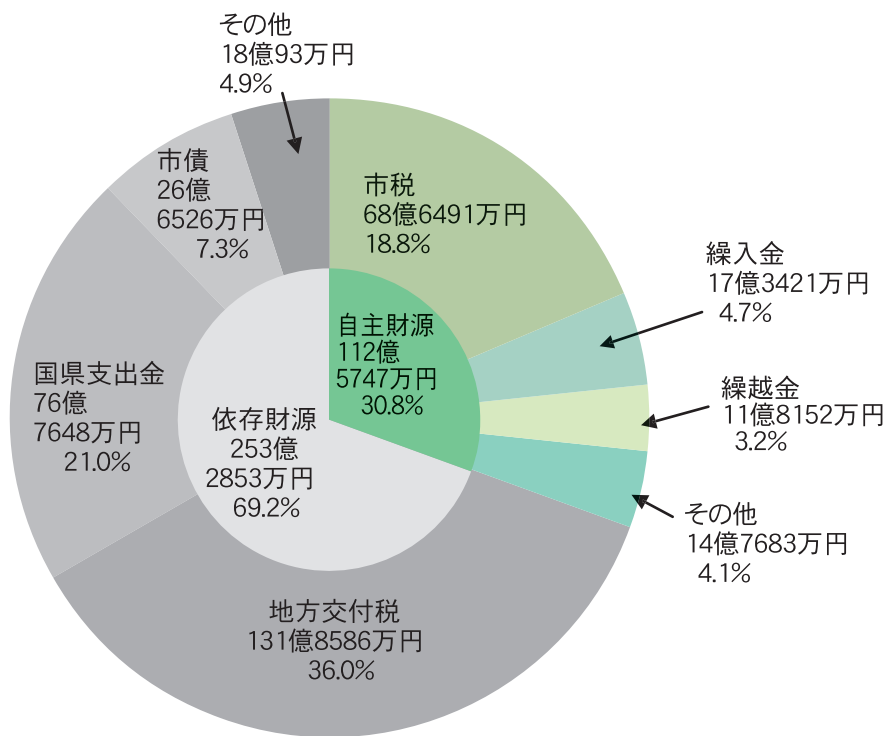


# 使われたか

## 一般会計 決算認定

歳入  
365億8600万円



## 9月定例会

9月定例会を8月30日から9月21日まで23日間の会期で開催しました。市長職務代理者より提案された議案は、5億8622万円を追加する一般会計補正予算、条例案など議案11件と平成28年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）が提案され、いずれも原案どおり可決・認定しました。

一般質問は、9人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

平成28年度の各会計の決算について、決算審査特別委員会を設置し、各担当課からの説明を受けて詳細に審査を実施しました。

その結果、適正に予算が執行されていることを確認し、委員会意見を付し認定しました。

### 決算の概要

平成28年度の一般会計決算額は、歳入で365億8600万円、歳出で353億3726万円、差し引き12億4874万円となります。これから翌年度へ繰り越した事業にあてる財源6004万円を差し引き、実質収支で11億8870万円の黒字決算となりました。

### 歳入

歳入の内訳の主なものをみると、市税が、歳入全体の18・8%にあたる68億6491万円、地方交付税は36・0%にあたる131億8586万円、

国県支出金は、21・0%にあたる76億7648万円、自主財源が

# 予算は適正に

## 平成28年度の主な事業

### ○星野地域振興事業

3億9647万円

星の文化館・茶の文化館の施設及び展示物のリニューアルを行うことにより地域イメージの向上とさらなる観光入込客の増加を図った。



### ○雇用促進住宅改修事業

2億7999万円

蒲原住宅南棟の改修工事を行い、老朽化住宅の住替え及び新婚・子育て世帯の住居の確保ができた。



### ○子ども・子育て支援事業

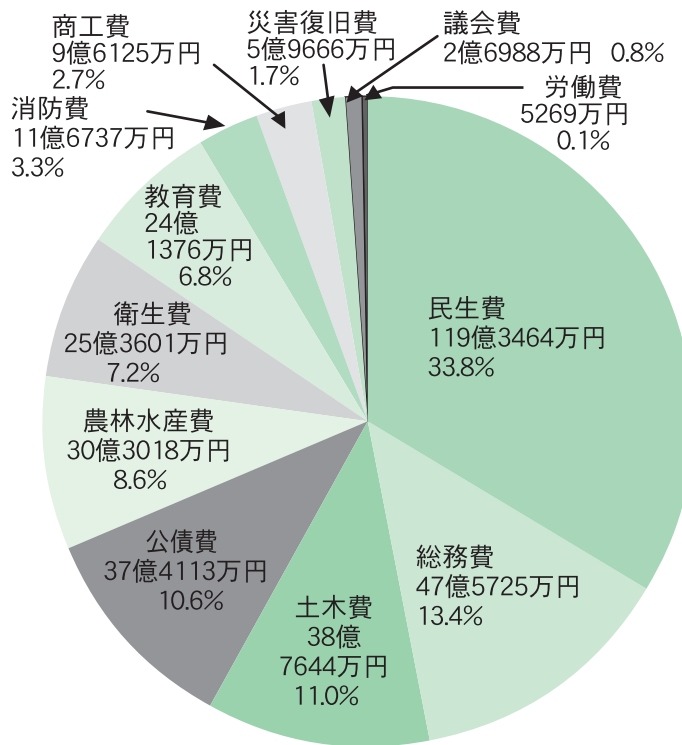
17億2211万円

幼稚園、認定こども園、保育所及び小規模保育園において就学前子どもに対する教育・保育の提供を行い、就労等する保護者の支援に寄与することができた。各施設に対しては給付費の支給と一時預かり事業等に対する補助金を交付した。また、保育料については、低所得者層に対し、多子軽減措置の拡充を行い、負担軽減を図ることができた。この他、保育料納付のコンビニ収納を開始した。

## 平成28年度

### 歳出

353億3726万円



歳出の内訳の主なものを目的別にみると、民生費が最も高く119億3464万円であり、全体の33.8%を占めています。主な事業として、しょうがい者の自立支援給付事業、子ども・子育て支援事業等です。続いて、総務費が13.4%にあたる47億5725万円、土木費が11.0%にあたる38億7644万円となつてい

### 歳出

# 議会から市へ提言

## ～決算審査特別委員会～

認定第1号

平成28年度八女市各会計歳入歳出決算認定について

決算を認定するにあたり、指摘・要望等を市に提言しました。

### 一般会計

①スクールソーシャルワーカー等による教育相談が実施されているが、

重い発信であり、市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、積極的に健康診査を受ける環境づくりを、全庁挙げて構築していただきたい。

また、健康づくりフェスタについては、「健康の日」を設定するなど毎年開催することで、市民の健康増進に一役を担える事業にしてください。

また、健康づくりフェスタについては、「健康の日」を設定するなど毎年開催することで、市民の健康増進に一役を担える事業にしてください。

相談件数等の年間統計資料が作成されていない。

また、健康づくりフェスタについては、「健康の日」を設定するなど毎年開催することで、市民の健康増進に一役を担える事業にしてください。

④乳幼児・子ども医療制度については、国保の減額調整措置を勘案した上で、独自の助成制度に対しては大いに評価できるが、中学生の通院に係る医療費の助成まで拡大すること、子育て支援の更なる充実を図られたい。

児教育の段階的無償化に先駆け、早期の無償化を実現するために、低所得者層から順次、更なる軽減を実施されたい。

会において統計資料を作成され、相談状況を的確に把握されるよう指摘する。

③地域福祉の担い手として中心的な役割を果たしている民生委員・児童委員の職務は、質・量とも年々増えており、地域によっては成り手不足も悩みの種となっている現状

⑤幼児教育の重要性を考え、子育て世代の経済的な負担軽減を目的に、保育料については、国の幼

②健康寿命の延伸を目指す「スポーツ・健康づくり都市宣言」は、極めて

極めて

極めて

### 決算審査特別委員会とは？

前年度の予算が議会の議決の趣旨に沿って適正に執行され、かつ行政効果及び住民サービス・住民福祉の向上にどのように役立ったかなど、目的の達成度を審査する特別委員会です。

この特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く議員（24名）で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査を行います。

# 一般会計補正予算

5億8622万3千円を追加  
歳入歳出予算総額371億7014万2千円

主な事業	補正額(千円)
地域密着型施設等整備補助金	21,790
荒廃森林整備工事費	23,683
消防団詰所建設工事費	11,000
体育施設営繕工事費	33,336

## 〈報告第7号〉

### 枯れ枝落下による

### 車両損害を賠償

【報告理由】

県道湯辺田瀬高線を走行中の車両に、市が管理する千間土居公園の大木の枯れ枝が落下直撃して

車両が損傷したため、損害賠償を専決処分(第5号)したことが報告されたものである。

**問** 損害賠償義務は、樹木の所有者である八女市が全部負うのか。道路管理者である福岡県にもその責任はないのか。

**答** 他の事例を参照の上、福岡県とも協議を行い、市が損害賠償することになった。

**問** 既に落下している枯れ枝等によって車両に損害を与えた場合の責任はどうか。

**答** ケースによって様々な場合があるので、一概にどうだとは言えない。

**問** 台風シーズンを迎える

中で、樹木の倒壊や枝の落下などが心配される。

支障があるような樹木の点検と除去はどうするか。

**答** 平成27年度に実施したが、今後も点検を実施し安全に努めたい。

**問** 山間地の道路は事故の可能性が高い。民有地についても道路沿いの樹木管理について周知・啓発すべきではないか。

**答** 今までも管理についてお願いしてきた。今後も管理のお願いを行いたい。

**問** 千間土居公園の大木の枝が伐採されて、景観を損ねているとの苦情もあるが、伐採の理由を広報等で周知・徹底できないか。

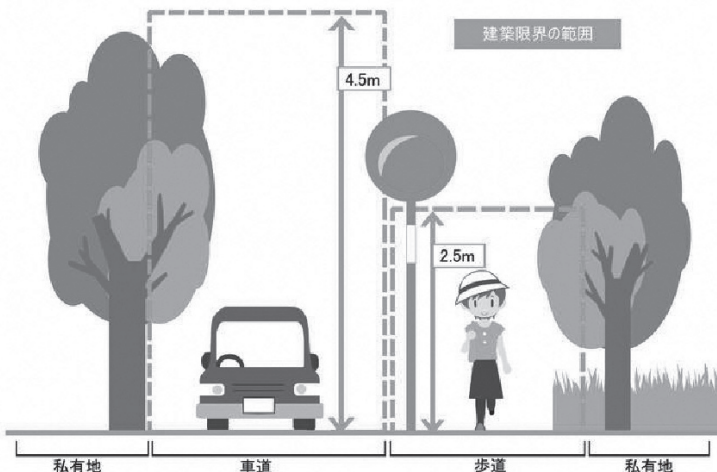
**答** 今後は伐採の理由を含め、周知を図っていきたい。

●自己所有の樹木等によって損害を与えた場合、賠償責任が発生する場合があります。建築限界(注1)を守って管理に努めましょう。

(注1) 建築限界とは

交通の安全を確保するため、道路等において障害となる工作物や構築物の設置が許されない空間範囲をいう。

大型自動車の走行、走行中の自動車からの身体露呈などに対処するために道路構造令で規定されている。歩道についても円滑な通行を確保するために、建築限界が設けられている。



建築限界の範囲